

浅草寺病院だより

2026 年
【夏号】

2026 年 7 月 13 日発行
社会福祉法人浅草寺病院
東京都台東区浅草 2-30-17
☎ 03-3841-3330

理念

観音さまの大慈悲のみこころにそって、
思いやりの精神のもとにあたためた医療を提供します。



浅草寺病院小児科の紹介と浅草近辺の小児科事情について

小児科部長 田村英一郎

小児科の田村といいます。私が当院に赴任してから6年経過していますが、浅草寺病院に小児科があることをまだ知らない方もいらっしゃるので、あらためて広報させていただこうと思います。

当院(浅草寺病院)は内科を中心に、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科のある総合病院になります。小児科は、医師は私1人、その他看護師1-2名で診療しております。外来一般診療(9:00~11:30、14:30~16:00)、予防接種(13:00~14:30 予約制)、乳幼児健診(13:00~14:30 予約制)を主に行なっております。

当科の特徴は主に下記が挙げられます。

- ① 一般診療は予約制ではないこと(予防接種、健診を除く)
- ② ベビーカーなどを置くスペースがあること
- ③ 感染症が疑われる患児(発熱や発疹のある児等)を個室隔離して診療を行なっている
- ④ 小児科以外の診療科にも受診することができる

①については、他のクリニック等では Web 予約が主流になっていますが、当院(当科)では、システムの都合上 Web 予約制にはなっていません。ですが診察時間内に来院された患者様はなるべくお断りなく診察できるよう心がけています。時期によって来院患者数の増加により、かなりお待ちせする場合がありますが、必ず皆様診察させていただいています。

②は、以前より他のクリニックを受診された患者様のご家族からの感想でよく聞かれます。「ベビーカーを置くスペースがあるので当院を受診しました」、「まわりに迷惑をかけることなく受診できます」という意見を頂きました。乳幼児期のお子様は、ベビーカーを使う方が多く、クリニックに比べ比較的スペースのとれる当院では、場所を気にせず受診できるのではないかと思います。

③は、特にコロナ禍を経て、感染に対する意識が患者側や医療者側に高まっていることもあり、個室対応を行うことで、感染症の患児と感染症以外で受診された患児を区分けしています。(来院して病院で感染症にかからないか不安な)患者様には、安心して受診できるようなシステムになっているのではないかと思います。

④は、総合病院の特性を生かしています。他科に受診する際、他のクリニック、病院に行っていたかという手間が省けます。

最後に浅草近辺の小児診療の実情をお話します。浅草近辺で小児科を標榜している所が少なく、さらに小児科専門医のいる病院、クリニックも非常に少ないのが現実です。小児の発育、健康状態のチェック、小児特有の疾患は、小児科医でないと対応できないことも多く、もしお困りがある場合は遠慮なく受診、相談にいらしてください。今後とも宜しくお願いいたします。

「運動脳」とは、精神科医であるアンデシュ・ハンセンが最新の脳科学研究をもとに「運動が脳に与える多面的な効果」を解説した有名な著書です。当書のメッセージは、運動は単なる体力づくりではなく、記憶力・集中力・創造性を高め、ストレスや不安を軽減し、うつ症状の予防・改善にも寄与する“脳の最良の薬”だという点です。

人類の脳は本来、太古の昔から命を維持するための狩猟採集という活動を経て、体を動かす環境に適応し進化してきました。しかし現代社会では座りがちで動くことが少ない生活が一般化し、脳が本来想定していない状態に置かれ、その結果、精神不安定や集中力低下が起こりやすくなりました。運動をおこなうと、脳内でBDNF（脳由来神経栄養因子）が増加し、これにより記憶力が向上し、学習効率も高まり、またドーパミンやセロトニンの分泌も活性化し、気分が安定します。

当書は、運動を「脳への投資」と捉え直す重要性を説き、日常生活に無理なく取り入れることを強く勧めています。

特に有酸素運動は効果が高く、週に数回、30 分間程度のウォーキングでも十分な変化が期待できます。年齢を問わず効果は得られ、子どもの学力向上から高齢者の認知症予防まで幅広い恩恵があるとされます。足腰を鍛えることは、心身を健全な状態へ導き、より良い毎日を送る必須条件です。

MRIによる認知症検査について

放射線科

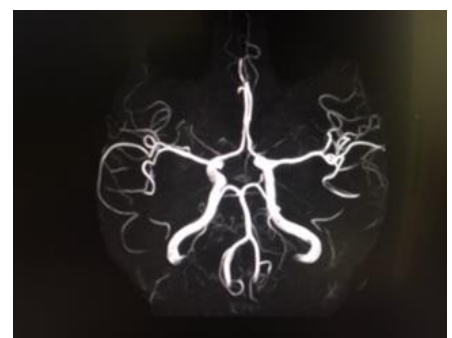
当院では MRI 装置による認知症検査を行っています。MRI 装置とは磁石と電波を用いて、体の中を調べ画像化する装置です。レントゲンや CT 装置とは異なり、放射線を使わないので被曝の心配もありません。検査時間は内容により異なりますが、20 分から 40 分程度かかります。脳梗塞、脳動脈瘤、椎間板ヘルニア、圧迫骨折などさまざまな疾患に有効な検査が可能です。特に、頭部 MRI 検査では VSRAD（早期アルツハイマー型認知症診断支援システム）という検査で脳の萎縮度を調べ、認知症の評価をすることが可能です。MRI で認知症の診断支援ができると、早い段階で治療を行うことができるので認知症の進行を遅らせることが可能となります。近年、認知症を患っている人は 65 歳以上で 7 人に 1 人と推定されています。高齢になるほど認知症になる確率は上がっていきます。認知症に対処するために 65 歳を迎えた方は一度当院の MRI で VSRAD 検査を受けてみてはいかがでしょうか。



MRI 検査室



VSRAD 画像



頭部脳動脈画像